

## 第29回衛星開発・実証小委員会 議事要旨

### 1. 日時

令和6年6月28日（金） 11:00～12:00

### 2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室及びオンライン

### 3. 資料

資料1 衛星測位に関するワーキンググループの設置について

資料2-1 スターダストプログラム「衛星用の通信フルデジタル化技術開発」  
成果報告

資料2-2 スターダストプログラム「宇宙船外汎用作業ロボットアーム・ハンド技術  
開発」成果報告（委託事業者：GITAI Japan）

資料2-3 スターダストプログラム「宇宙船外汎用作業ロボットアーム・ハンド技術  
開発」成果報告（委託事業者：アストロスケール）

### 4. 議事要旨

#### （1）衛星測位ワーキンググループの設置について

委員からの意見は以下の通り。

- 2024年5月22日の第113回宇宙政策委員会にて公表した、準天頂衛星システムみちびきの「衛星測位に関する取組方針2024」について、非常に良く整理されている。
- 衛星測位ワーキングにおいては、他の地域に、みちびきの衛星測位システムを売り込む事も視野に入れた議論や、みちびきのデータ利活用を促進できるような施策に関する議論を行ってほしい。

#### （2）宇宙開発利用加速化戦略（スターダスト）プログラムの戦略プロジェクトの評価について

委員からの意見は以下の通り。

##### ①「衛星用の通信フルデジタル化技術開発」の成果報告について

- 本事業を通して、フルデジタル化の要素技術を獲得できた事は重要な成果。今後のETS-9での宇宙実証をしっかりと進めてほしい。
- この獲得した要素技術を、今後の「民間企業の投資」や、「産業競争力の強化」に、どう繋げていくかが重要。

##### ②「宇宙船外汎用作業ロボットアーム・ハンド技術開発」の成果報告について

- GITAIについて、本事業にて開発を進めていた宇宙実証用モデルが、現在ISS船外での宇宙曝露環境での実証を開始し、順調に実績を構築している点は、スターダストプログラムとして一つの大きな成果。

以上